誠信女子大学
Sungshin Women's University

●学部学生 13,000人　●大学院生 250人　●教職員 680人
ホームページ　http://www.sungshin.ac.kr/main_eng/index.do
交流協定締結年月日：2011年2月21日　　主管学部：教育学部

ソウル市内キャンパス

卒業･修了制作展に参加

国際交流の特色

誠信女子大学は、1936年誠信女学校として設立され、1979年に誠信女子大学と改名し、1981年には総合大学に昇格した。現在は13学部49専攻があり、メディアコミュニケーション学科、看護学科、ビューティー産業学科などで有名です。学部、附属高校、語学センター、博物館などの組織されている。誠信女子大学は師範学校から出発していることもあり、その校風は作法・礼儀を身に付けることを尊重し、現在に至るまで受け継いでいる。学部は女子のみであるが、大学院は男女共学である。キャンパスはソウル市内に有り、交通の便も良い立地条件である。

交流実績（令和４年度～令和６年度）

受入・派遣＼年度	R4	R5	R6
学生の受入	0	2	2
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	5
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	2

交流の様子

令和５年度は２名の留学生が１年間、香川にやってきました。１名は人文科学部で日本文化を学んでいる学生、もう１名は知識サービス工科学部でセキュリティ工学を学んでいる学生です。教育学部とは専攻が違いますが、香川大学の学生とともに積極的にコミュニケーションを図り、日本文化を学び、体験していました。

お互いに自分たちの生活や文化を紹介しあうことで、改めて気がつくことや感じることなどが多々あり、交流することの楽しさや学びを感じました。

学生からの声

僕は、誠信女子大学で１年間、西洋美術を専攻しました。初めに、どうして男子が女子大に通えるのかと指摘がありそうですが、交換留学生は大丈夫です。門に入る時には少し目線が痛いですが、すぐに慣れます。授業は韓国語が主なので少し大変ですが、日本語ができる教授や英語の授業もあるので、美術専攻で留学した身としてはすごく勉強になりました。韓国はおいしいものが沢山あります。学校の近くにある食堂に入れば、ビビンパやユッケジャンがとても安い値段で食べられます。また、大学はソウル市内にあるので、周辺には楽しめる場所が沢山あります。まず退屈しません。他にも、近いけど違う韓国という文化を生活を通して肌で感じることができ、とても新鮮で面白いので、是非興味がある方は来て見てください。

（2010年度留学学生）